

歯科衛生士の離職防止、復職促進のためのアンケート調査 結果報告

令和3年11月

山形県健康福祉部がん対策・健康長寿日本一推進課

調査の概要

<目的>

歯科衛生士の離職の要因と復職に向けた課題の把握

<調査対象>

県内歯科医師(歯科医療機関の代表歯科医師)、歯科衛生士

<調査期間と周知・回答方法>

期間：令和3年1月4日～同年2月5日

周知方法：県内歯科医療機関 545 ヶ所(歯科診療所 521 ヶ所、病院歯科 24 ヶ所)、県歯科衛生士
 会員 143 名、山形歯科専門学校同窓生 928 名に調査協力依頼文書と調査票を郵送
 および県 twitter、県・県歯科医師会ホームページ、県歯科医師会 LINE での広報

回答方法：県電子申請システム上での回答、または調査票の FAX・郵送での返送
 (歯科衛生士には調査票の重複配布あり、回答はいずれか1つのみ)

<回答数>

歯科医師 126 名 回答率 23.1%

歯科衛生士 327 名 調査票の重複配布あり、回答率算出不能

(参考：県内就業歯科衛生士数 1,163 名) ※平成 30 年衛生行政報告例より

◆回答者の内訳◆

1. 歯科医師(年代別・勤務形態別)

上段:歯科医師数 下段:%	事業主 (院長、理事長等)	勤務医	総計
30代以下	9 64.3%	5 35.7%	14 100.0%
40代	18 85.7%	3 14.3%	21 100.0%
50代	38 92.7%	3 7.3%	41 100.0%
60代	37 97.4%	1 2.6%	38 100.0%
70代以上	12 100.0%	0 0.0%	12 100.0%
総計	114 90.5%	12 9.5%	126 100.0%

(年代別・勤務地別)

上段:歯科医師数 下段:%	村山地区	最上地区	置賜地区	庄内地区	総計
30代以下	7 50.0%	0 0.0%	5 35.7%	2 14.3%	14 100.0%
40代	12 57.1%	1 4.8%	4 19.0%	4 19.0%	21 100.0%
50代	23 56.1%	1 2.4%	6 14.6%	11 26.8%	41 100.0%
60代	23 60.5%	3 7.9%	8 21.1%	4 10.5%	38 100.0%
70代以上	7 58.3%	1 8.3%	3 25.0%	1 8.3%	12 100.0%
総計	72 57.1%	6 4.8%	26 20.6%	22 17.5%	126 100.0%

2. 歯科衛生士(年代別・勤務先別)

上段: 歯科衛生士数 下段: %	歯科診療所	歯科診療所以外(病院)	歯科診療所以外(行政)	歯科診療所以外(施設等)	歯科衛生士以外の仕事(医療系)	歯科衛生士以外の仕事(医療系外)	働いていない	総計
20代	71 85.5%	5 6.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.2%	1 1.2%	5 6.0%	83 100.0%
30代	82 79.6%	5 4.9%	1 1.0%	0 0.0%	1 1.0%	5 4.9%	9 8.7%	103 100.0%
40代	63 75.9%	3 3.6%	2 2.4%	7 8.4%	0 0.0%	5 6.0%	3 3.6%	83 100.0%
50代	34 79.1%	3 7.0%	3 7.0%	1 2.3%	0 0.0%	2 4.7%	0 0.0%	43 100.0%
60代以上	10 66.7%	2 13.3%	1 6.7%	2 13.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	15 100.0%
総計	260 79.5%	18 5.2%	7 2.1%	10 3.1%	2 0.6%	13 4.0%	17 5.2%	327 100.0%

(年代別・勤務地別)

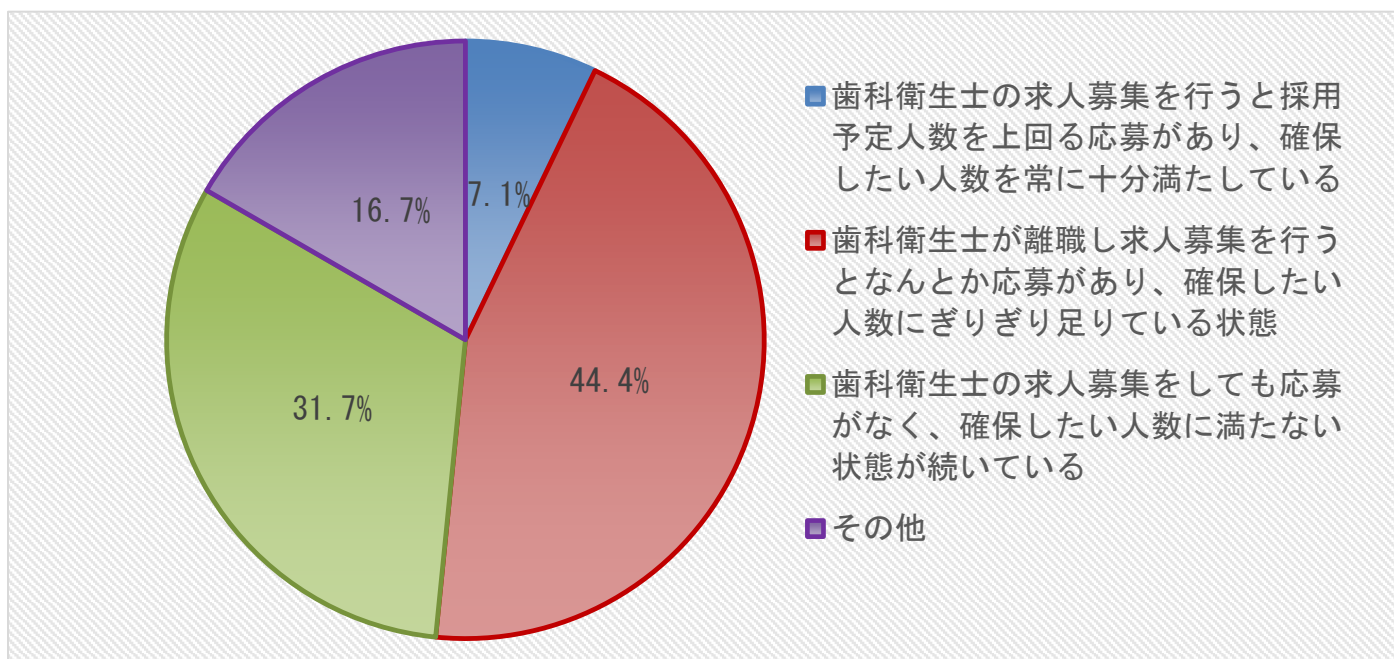
上段: 歯科衛生士数 下段: %	村山地区	最上地区	置賜地区	庄内地区	総計
20代	51 61.4%	3 3.6%	15 18.1%	14 16.9%	83 100.0%
30代	55 53.4%	5 4.9%	31 30.1%	12 11.7%	103 100.0%
40代	59 71.1%	0 0.0%	14 16.9%	10 12.0%	83 100.0%
50代	21 48.8%	3 7.0%	8 18.6%	11 25.6%	43 100.0%
60代以上	10 66.7%	2 13.3%	3 20.0%	0 0.0%	15 100.0%
総計	196 59.9%	13 4.0%	71 21.7%	47 14.4%	327 100.0%

◆調査結果のポイント◆

1. 歯科医師へのアンケート

(1) 歯科医療機関の歯科衛生士の求人状況

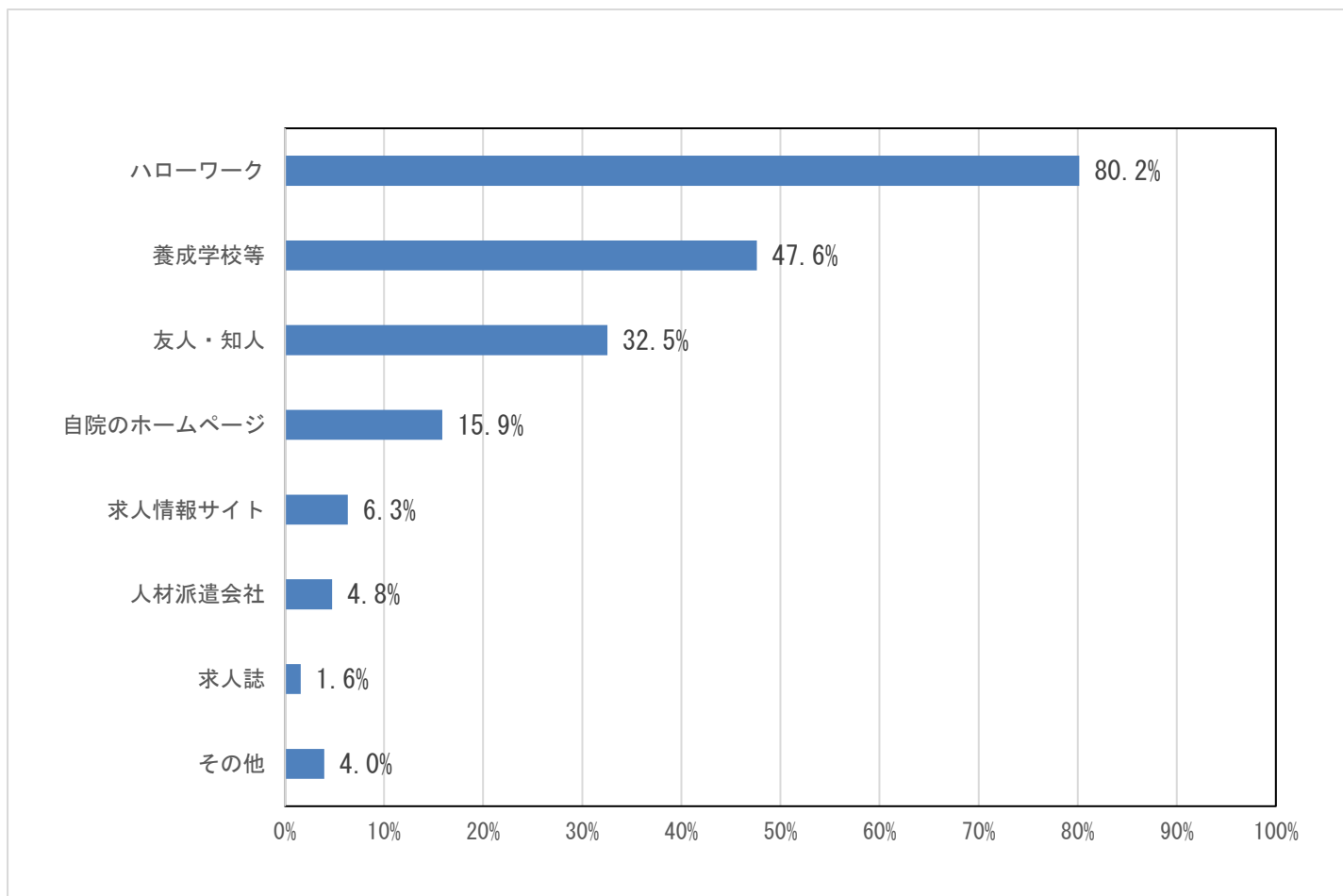
(調査数：126)



『確保したい人数に満たない状態が続いている』歯科医療機関が約3割を占めるなど、県内においても就業歯科衛生士数が不足している現状にある。

(2) 歯科医療機関が用いている求人募集媒体(複数回答)

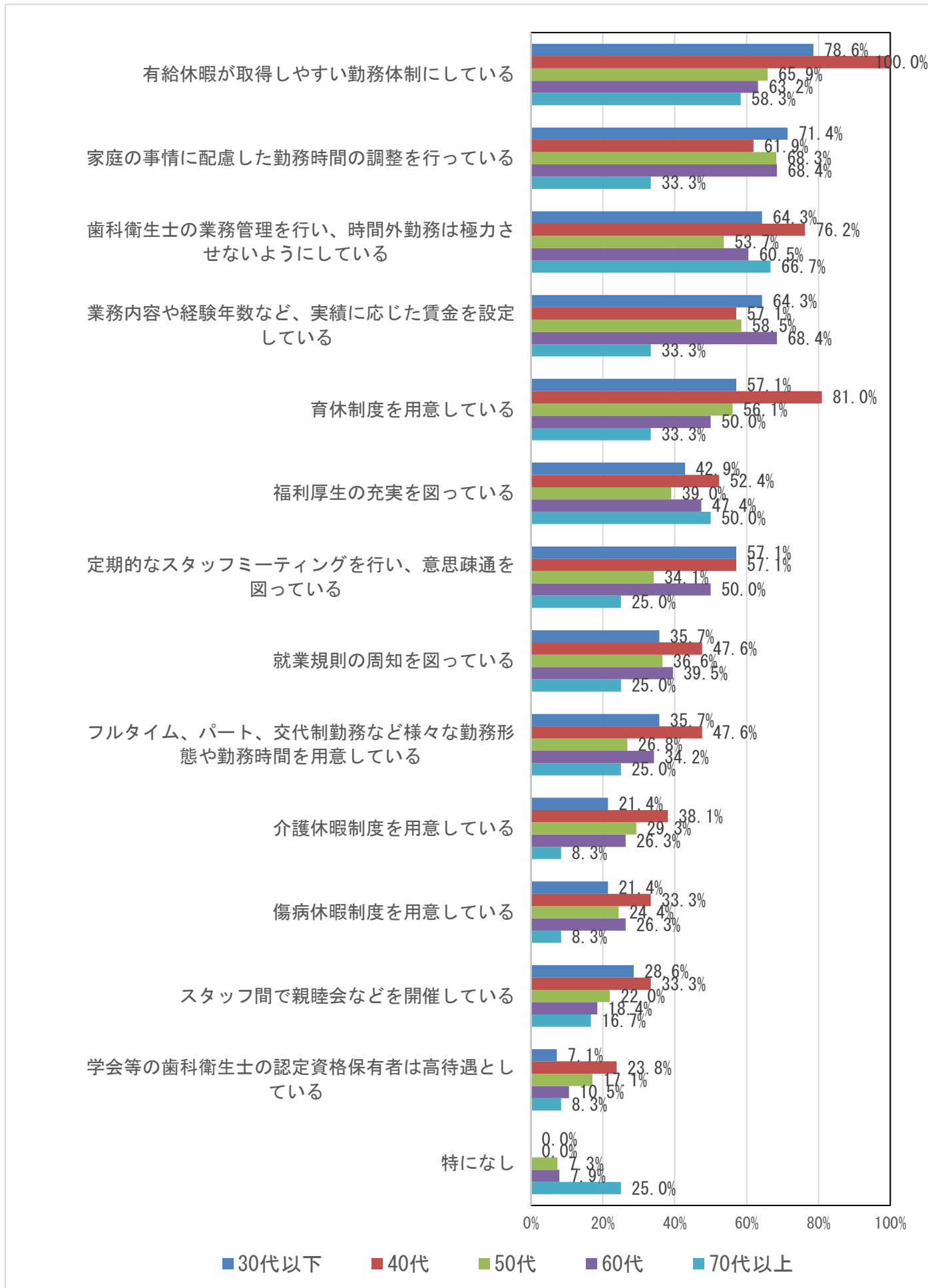
(調査数：126)



『ハローワーク』を用いて求人している割合が最も多く、『養成学校等』、『友人・知人』と続いている。

(3) 歯科衛生士確保のための、歯科医療機関側の取組み内容（複数回答）

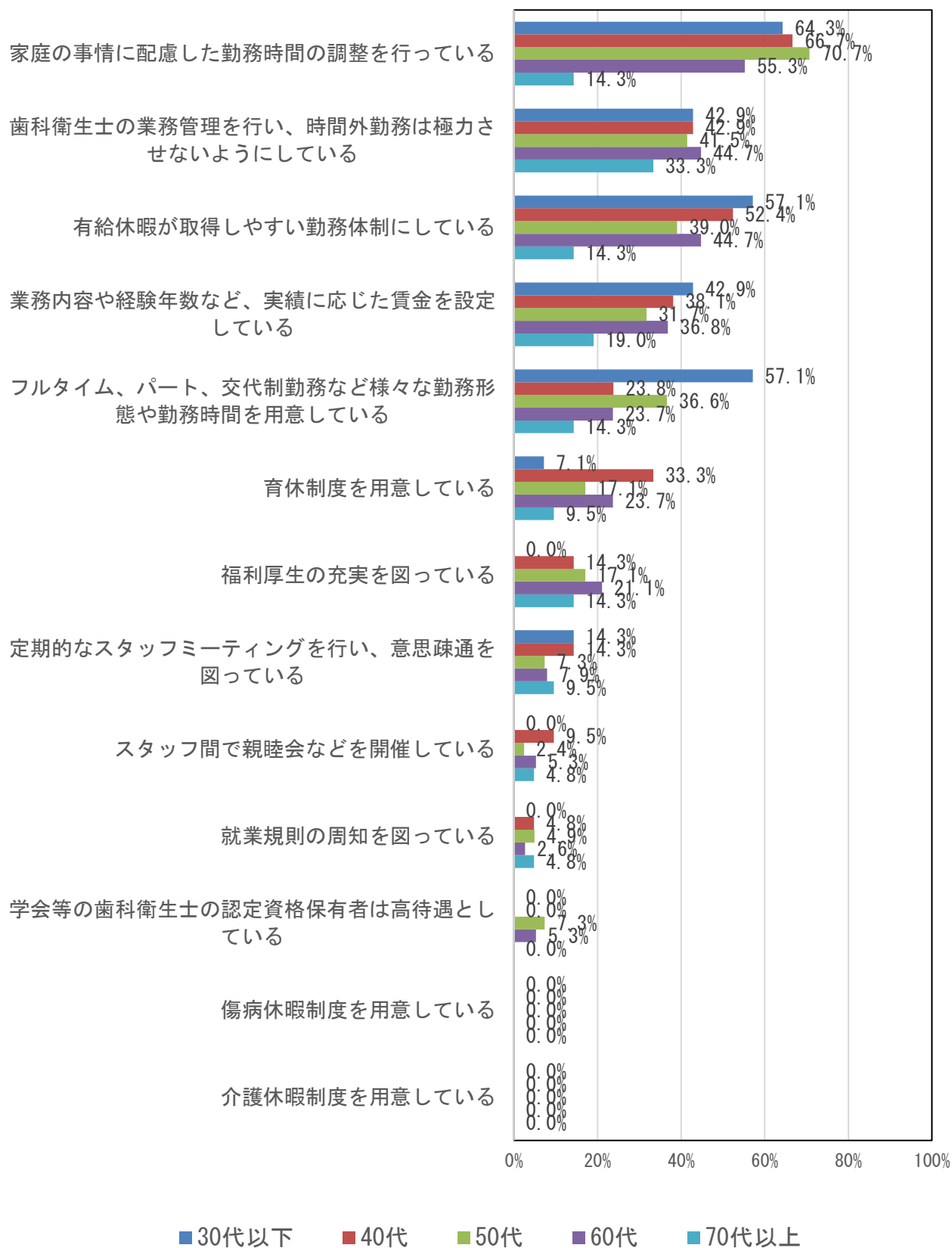
（調査数：126）



『有給休暇が取得しやすい勤務形態』が最も多く、特に40代歯科医師の回答が100%である。

(4) 歯科衛生士が勤務を続ける上で、最も望むと歯科医師が考える取組み内容
(最大3つまで複数回答)

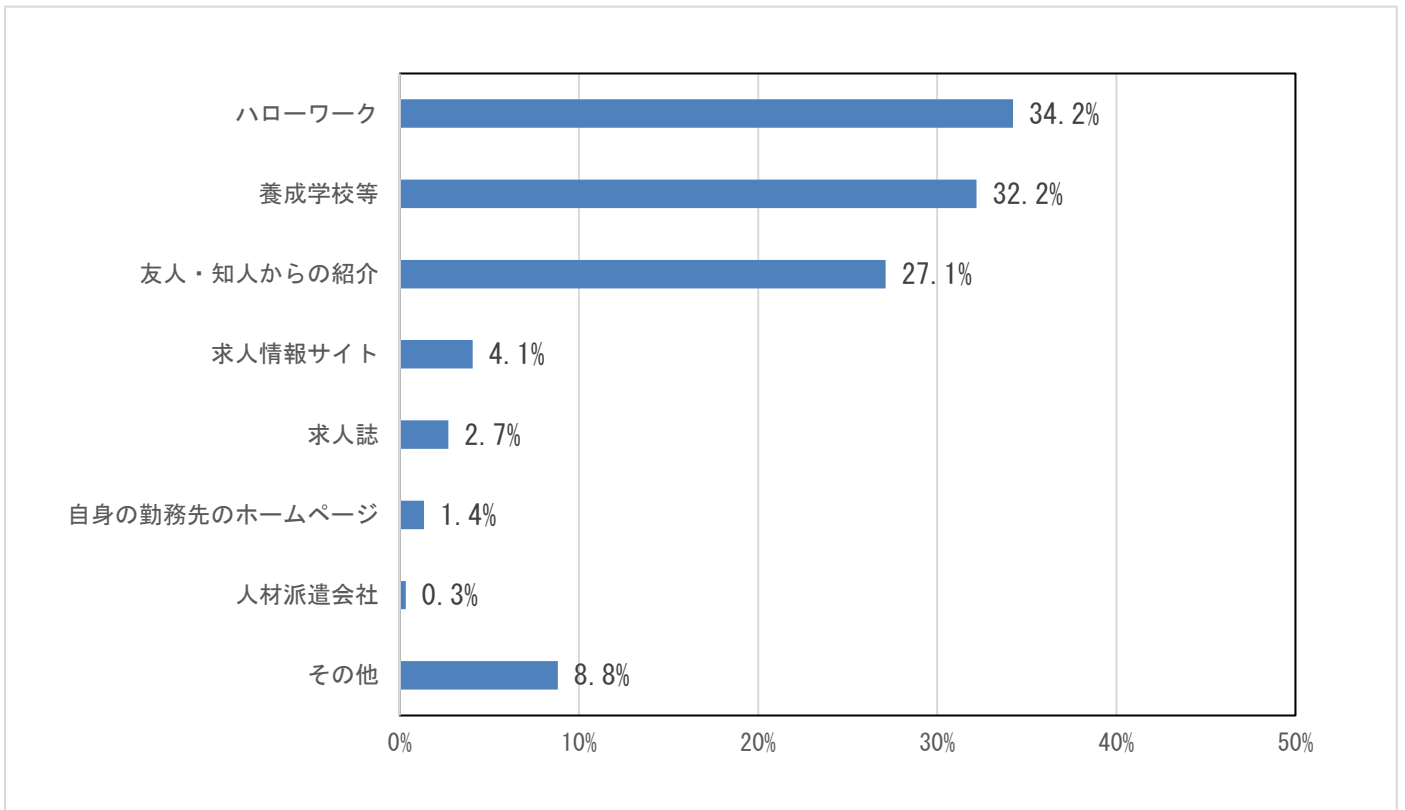
(調査数：126)



30代以下～60代では『家庭の事情に配慮した勤務時間の調整』、70代以上では『時間外勤務を極力させない』が最も多い。

2. 歯科衛生士へのアンケート

(1) 現在、歯科診療所、歯科診療所以外(行政、施設、病院等)に勤務している歯科衛生士対象
現在の勤務先の求人情報入手先(複数回答) (調査数：295)

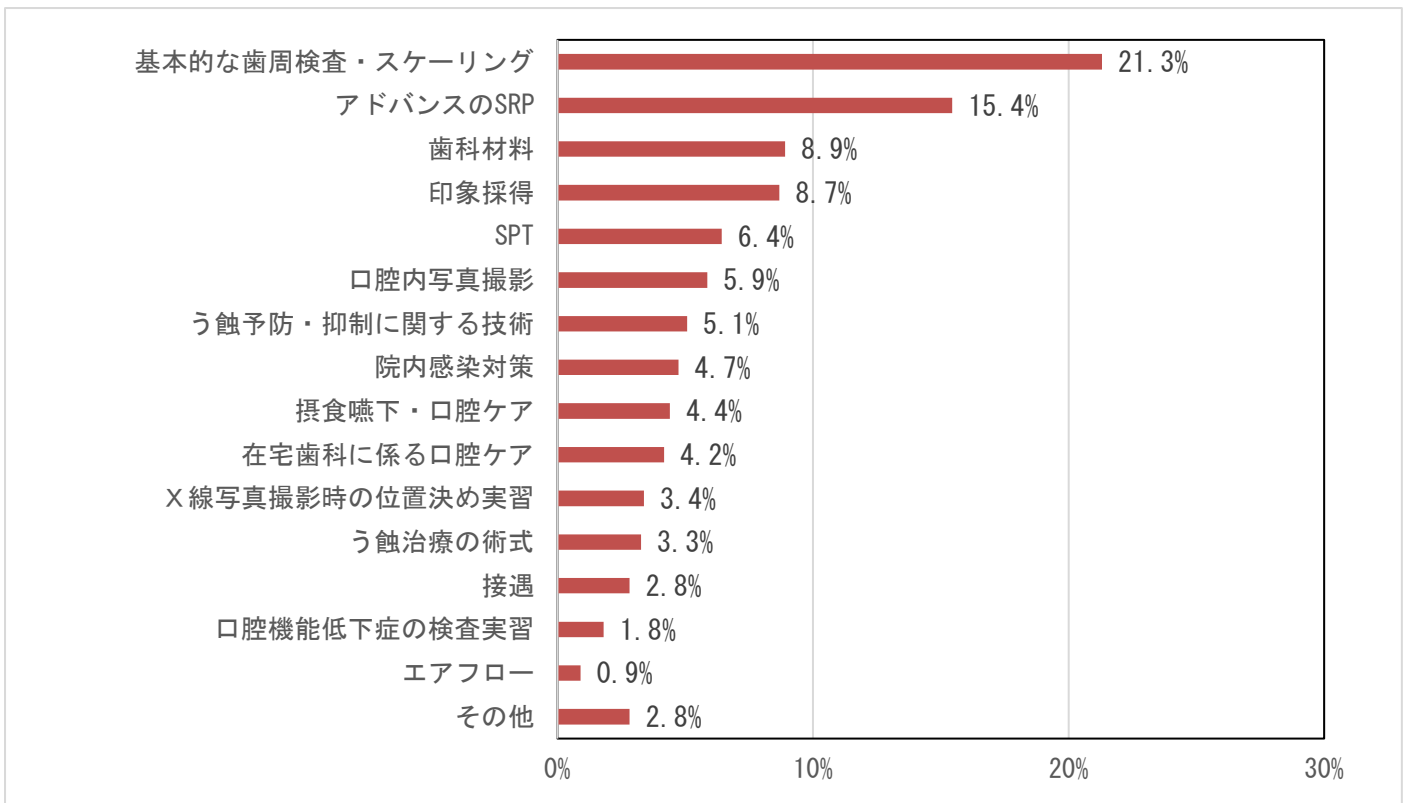


『ハローワーク』、『養成学校等』、『友人・知人』と続いており、歯科医療機関側の求人募集媒体と同順位である。

(2) 歯科診療所に勤務経験のある歯科衛生士対象

産休・育休等のブランク発生時にあるとよい復職のための研修内容(最大3つまで複数回答)

(調査数：309)

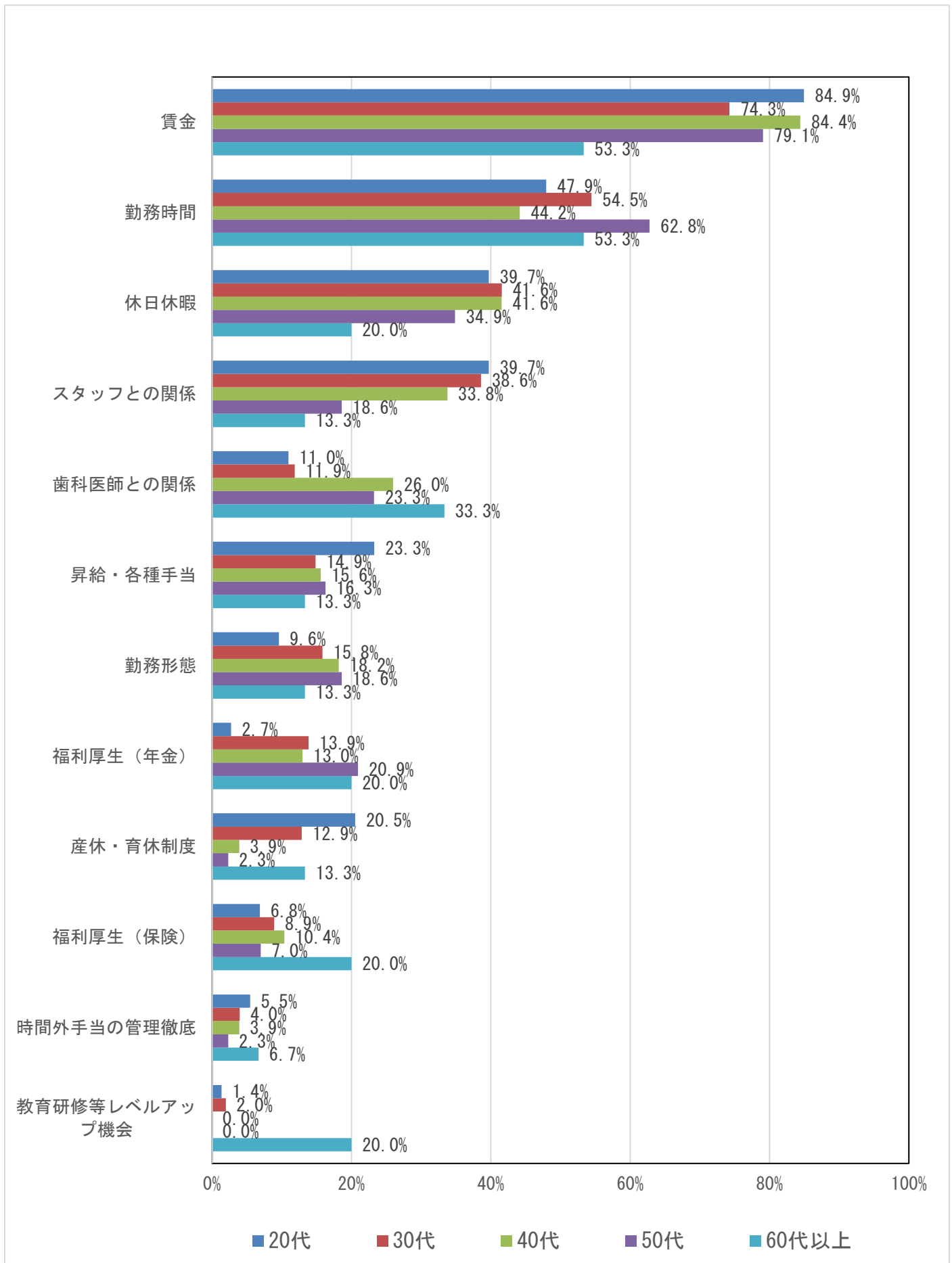


『基本的な歯周検査・スケーリング』が最も多く、次いで『アドバンスのSRP』と歯周疾患に関する研修内容を望む回答が多い。

(3) 歯科診療所に勤務経験のある歯科衛生士対象

歯科診療所で働き続けるにあたり、特に重視する項目(最大3つまで複数回答)

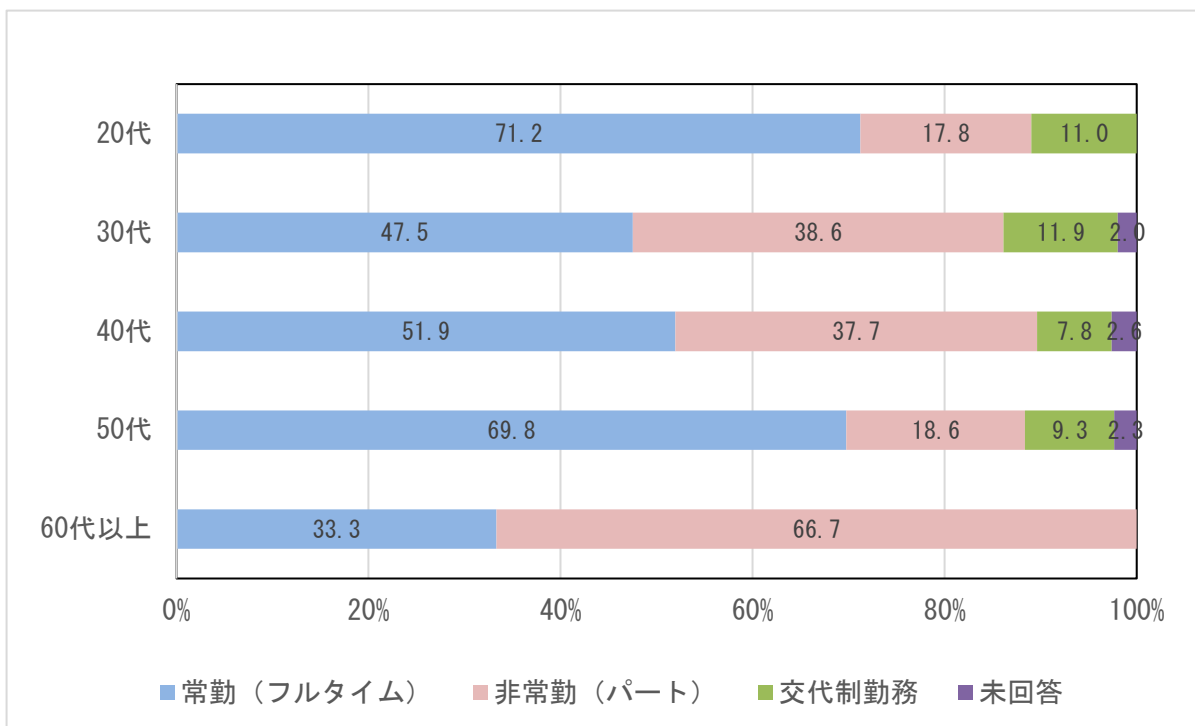
(調査数 : 309)



20～50代では『賃金』が最も多く、『勤務時間』、『休日休暇』と続いている。60代以上では『賃金』と『勤務時間』が同率で最も多く、次いで『歯科医師との関係』となっている。

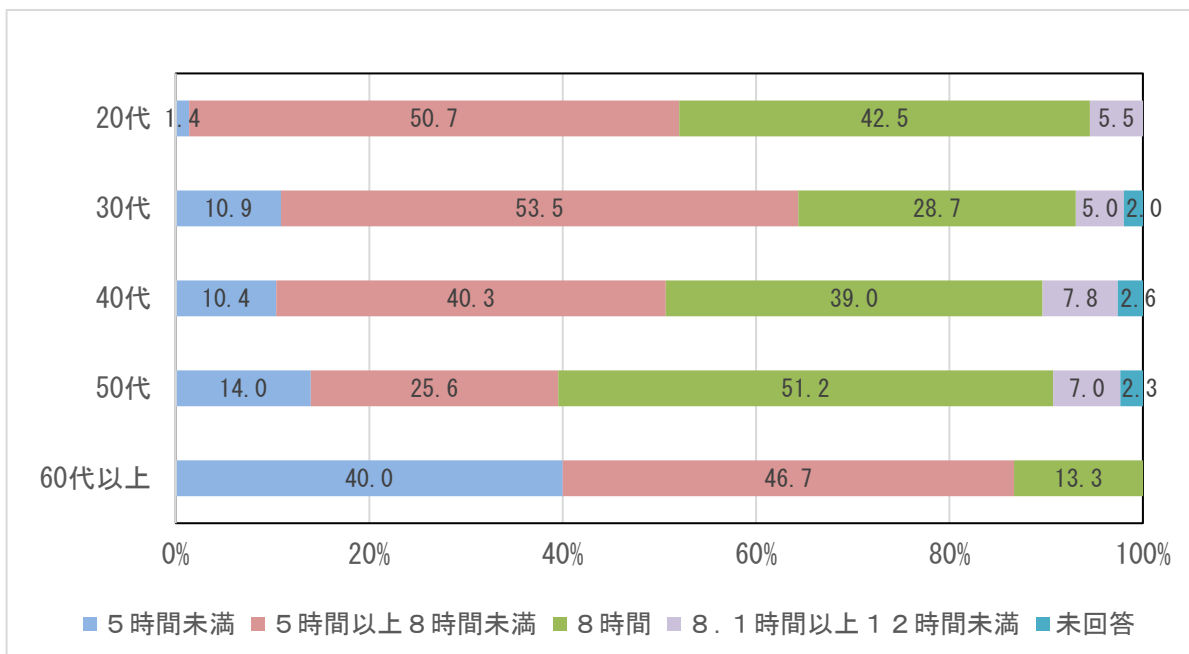
(4) 歯科診療所に勤務経験のある歯科衛生士対象

①希望する勤務形態（調査数：309）



30代、40代、60代以上では、他の年代と比較して非常勤(パート)希望の割合が高い。30～40代では出産・育児の面、60代以上では体力の面で、比較的休暇や時間の融通ができる非常勤を希望する割合が高いと推察される。

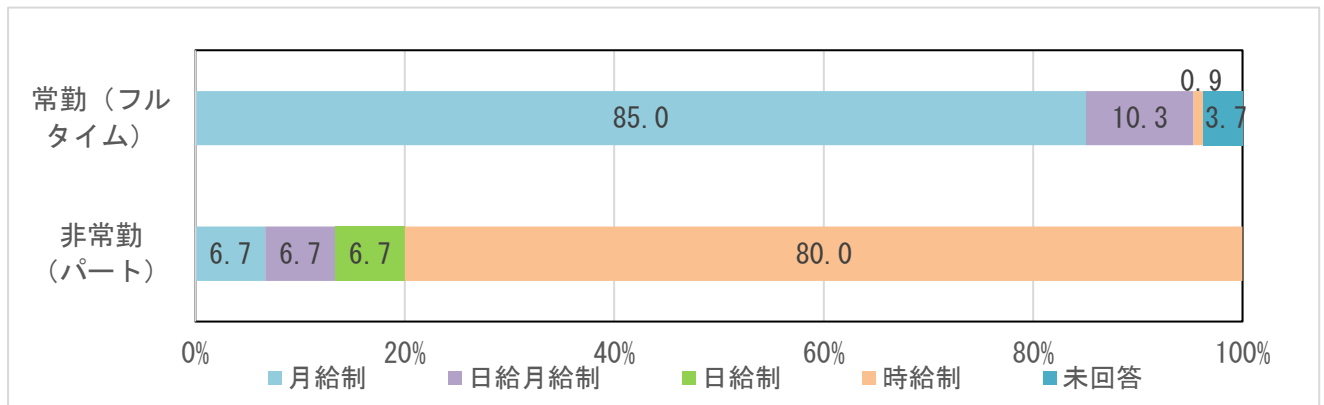
②希望する勤務時間（調査数：309）



20代、30代、40代、60代以上では『5時間以上8時間未満』希望の割合が最も高く、50代では『8時間』希望の割合が最も高い。

(5) 現在、歯科診療所に勤務している歯科衛生士対象

①勤務形態と賃金形態（調査数：259※1）

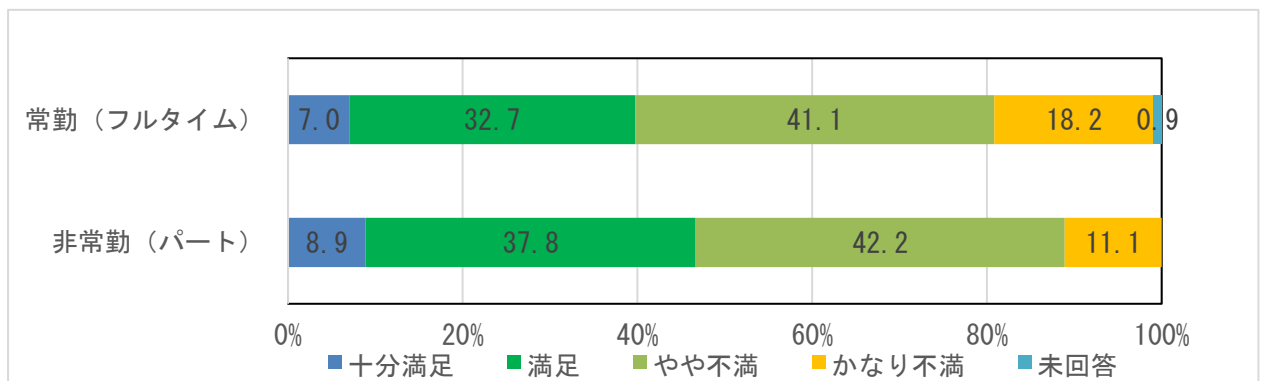


※1 勤務形態未回答1名を除く

常勤（フルタイム）では『月給制』、非常勤（パート）では『時給制』がともに8割以上を占めている。

②現在の賃金の満足度

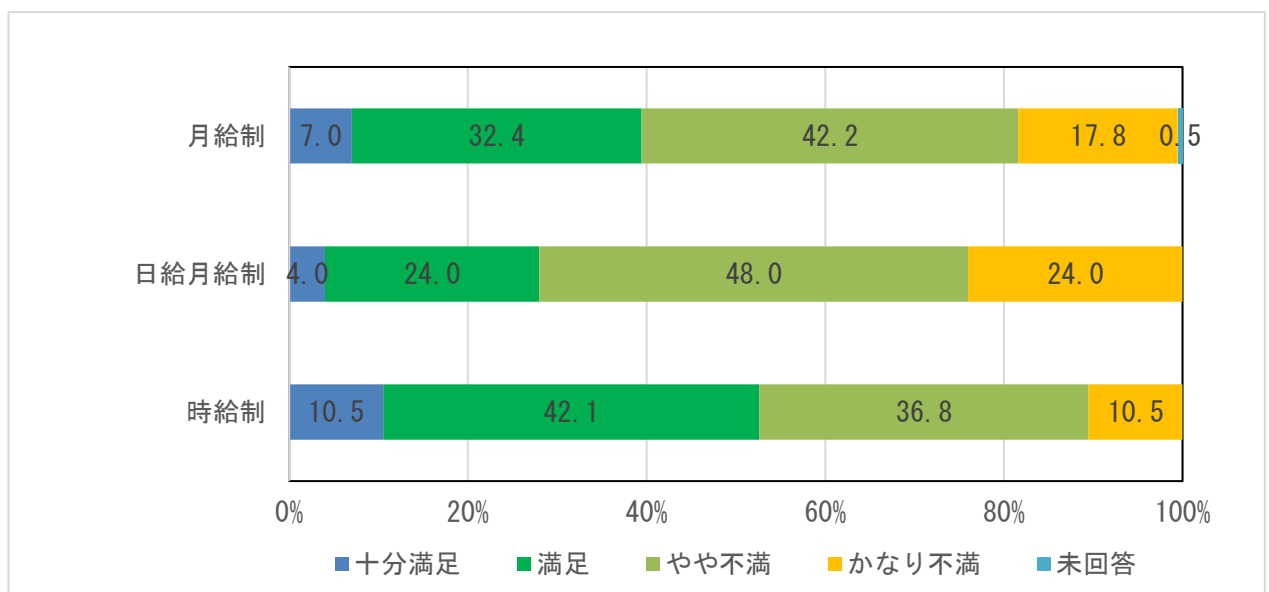
勤務形態別（調査数：259※2）



※2 勤務形態未回答1名を除く

『十分満足』と『満足』を合わせると、常勤39.7%、非常勤46.7%と、非常勤の方が満足の割合がやや高い。

賃金形態別（調査数：248※3）



※3 賃金形態未回答9名、日給制3名はサンプル数が少ないため除く

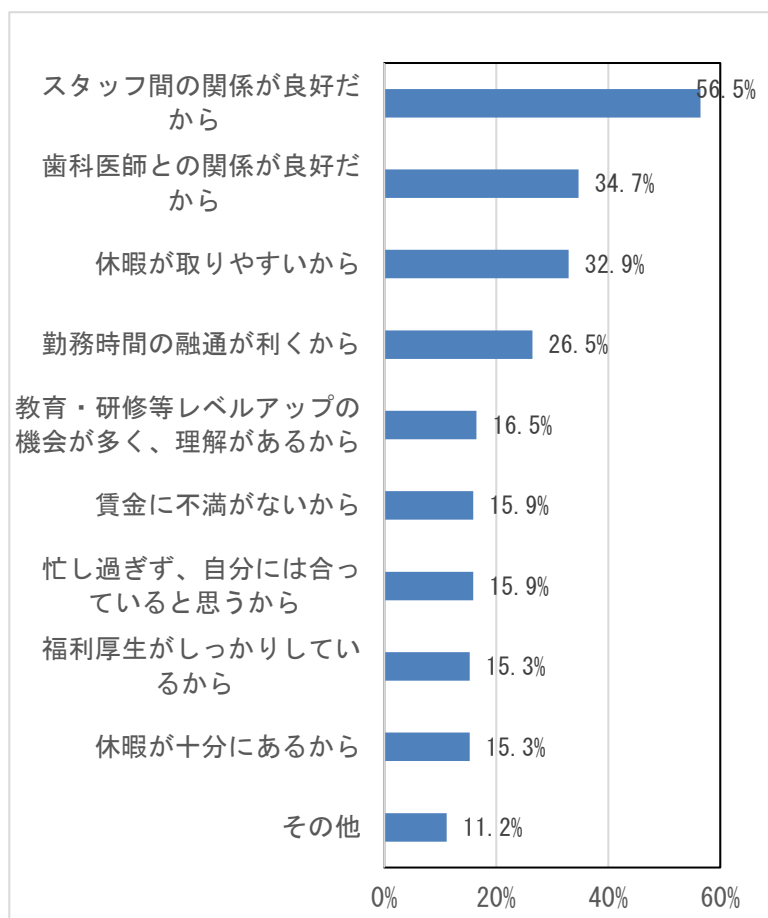
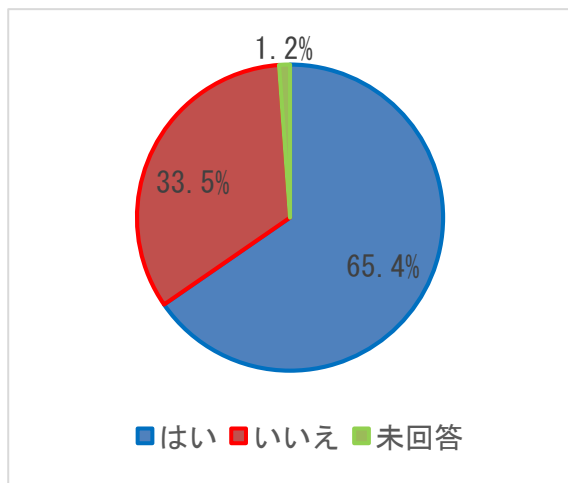
『十分満足』と『満足』を合わせると、月給制39.4%、日給月給制28.0%、時給制52.6%と差がみられる。

(6) 現在、歯科診療所に勤務する歯科衛生士対象 (調査数: 260)

現在の勤務先で働き続けたいか

(はいと回答した方 170 名) 働き続けたい理由

(最大3つまで複数回答)

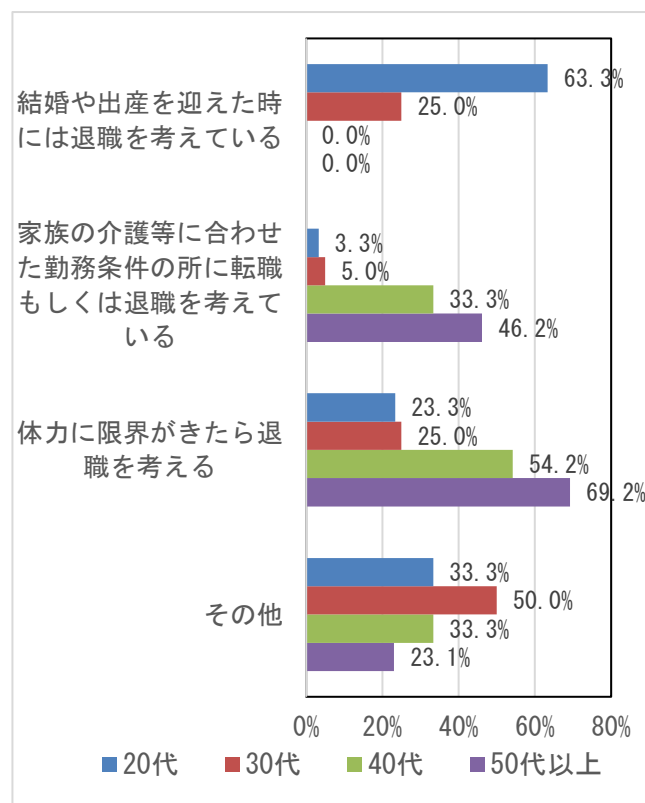
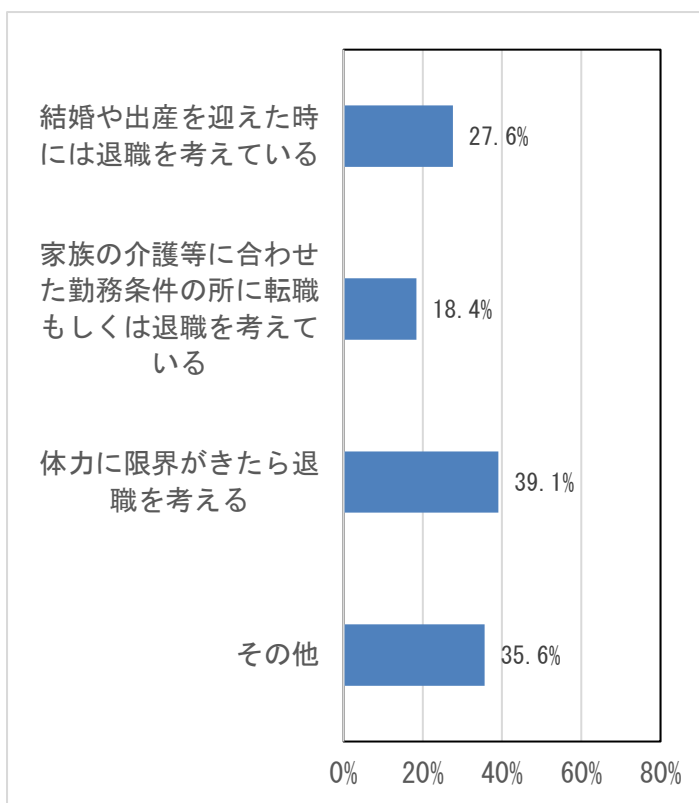


現在の歯科診療所で働き続けたい理由は、『スタッフ間の関係が良好だから』が最も多く6割近くを占めている。歯科診療所では、働き続けられる理由として、『歯科医師、スタッフとの関係性が良好』であることが重要であると考えられる。

(いいえと回答した方 87 名) 働き続けたくない理由 (複数回答)

< 総数 >

< 年代別 >



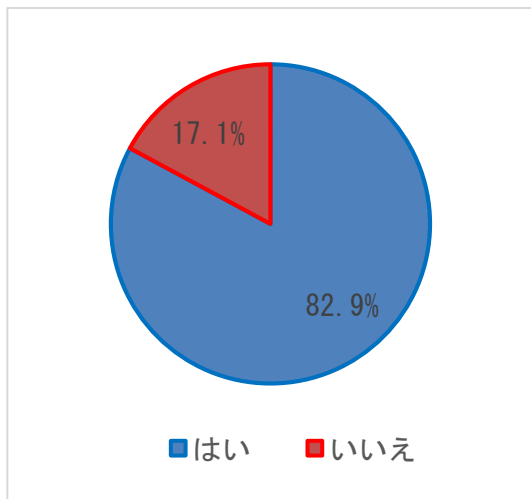
20代の6割以上が『結婚や出産を機に退職を考えている』のに対し、40代、50代以上では5割以上が『体力の限界で退職を考えている』傾向にある。

(7) 現在、歯科診療所以外（行政、施設、病院等）に勤務する歯科衛生士対象（調査数：35）

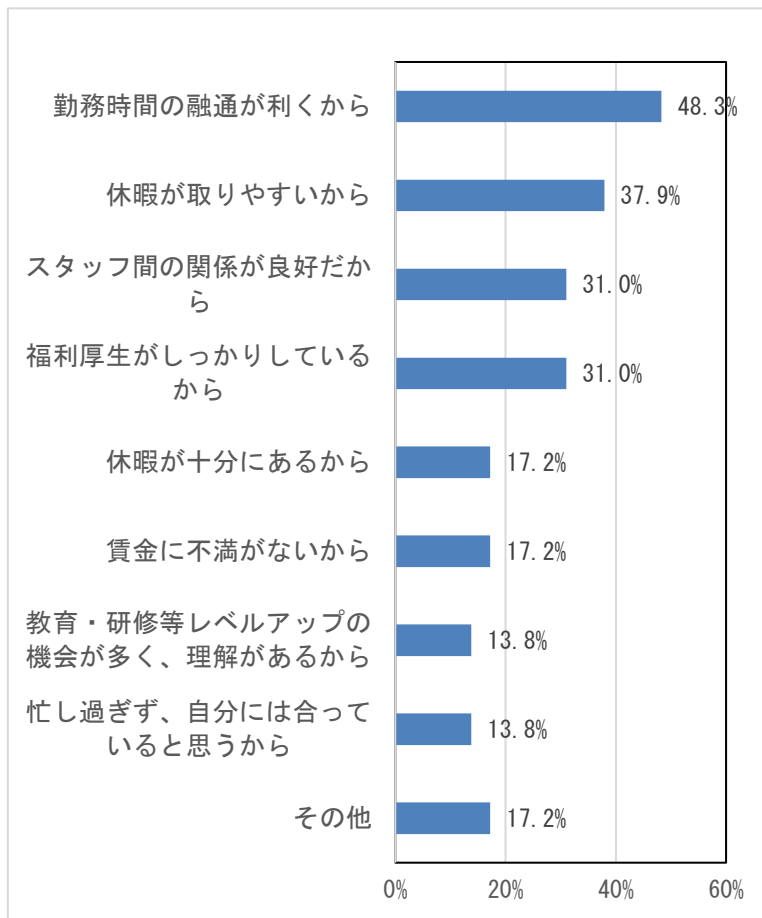
現在の勤務先で働き続けたいか

（はいと回答した方 29 名）働き続けたい理由

（最大3つまで複数回答）



行政、施設、病院等で働き続けたい理由は、『勤務時間の融通が利くから』が最も多く5割近くを占めている。



歯科医師との関係性の中で、歯科衛生士が歯科医師に望むこと

※自由記載を項目ごとに分類（複数回答）

(件)

相談や話がしやすい関係性	22
歯科衛生士に対する接し方の改善 (誰に対しても同じ態度、など)	21
お互いを信頼・尊重し、レベルを高めあう関係性	13
歯科衛生士の休暇や勤務体制に対する理解	13
労働基準法や歯科衛生士の業務範囲に対する理解	9
パワハラ・セクハラのない職場環境	5

スタッフ間の関係性の中で、歯科衛生士がお互いに望むこと

※自由記載を項目ごとに分類（複数回答）

(件)

信頼関係、協調性の構築	20
相談・会話がしやすい関係性	16
相いじめ、仲間外れなどがない	11
先輩として、後輩への指導方法が適切	8
お互いに適度な距離感がある	4
上下関係がなく、お互い対等な関係性	2

現在、歯科医師との関係の中で歯科衛生士が不満に思うこと

※自由記載を項目ごとに分類（複数回答）

(件)

有給休暇や育休に対する不満	9
歯科医師の人間性に関すること	7
賃金に対する不満	5
勤務時間に対する不満	4
診療体制に対する不満	3
業務内容に対する不満	3
お互いの関係性の希薄さ	2